

農地法第3条の規定による許可申請書

記入例（一般農家用）

年 月 日

平塚市農業委員会会長

下記農地(採草放牧地)について { 所有権
賃借権 } を { 移転 }
() 設定(期間 年間)

したいので、農地法第3条第1項に規定する許可を申請します。(該当する内容に○を付してください。)

記

1 当事者の氏名等 (国籍等は、所有権を移転する場合に譲受人のみ記載してください。)

当事者	氏名	年齢	職業	住所および 電話番号	国籍等	在留資格 又は特別 永住者
譲渡人	平塚 次郎	30	農業	平塚市浅間町 9-1 090-1234-5679		
譲受人	湘南 湘夫	32	農業	平塚市浅間町 9-2 090-3456-7890	日本	

2 許可を受けようとする土地の所在等 (土地の登記事項証明書を添付してください。)

所在・地番	地目		面積(m ²)	対価、賃料 等の額 (円) 10a 当たりの 額	所有者の氏名又 は名称 現所有者の氏名 又は名称(登記と 異なる場合)	所有権以外の使用収益権が 設定されている場合	
	登記	現況				権利の種 類、内容	権利者の氏名 又は名称
平塚市入野 123	田	畑	900				
平塚市入部 456	畑	畑	800				
平塚市横内 3456	田	田	700				
計			2,400				

3 権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容

〈譲渡人〉

耕作ができなくなった

〈譲受人〉

規模拡大

(記載要領)

- 1 法人である場合は、住所は主たる事務所の所在地を、氏名は法人の名称及び代表者の氏名をそれぞれ記載し、定款又は寄付行為の写しを添付(独立行政法人及び地方公共団体を除く。)してください。
- 2 国籍等は、住民基本台帳法(昭和42年法律第81号)第30条の45に規定する国籍等(日本国籍の場合は、「日本」)を記載するとともに、中長期在留者にあつては在留資格、特別永住者にあつてはその旨を併せて記載してください。法人にあつては、その設立に当たって準拠した法令を制定した国(内国法人の場合は、「日本」)を記載してください。
- 3 競売、民事調停等による単独行為での権利の設定又は移転である場合は、当該競売、民事調停等を証する書面を添付してください。
- 4 記の3は、権利を設定又は移転しようとする時期、土地の引渡しを受けようとする時期、契約期間等を記載してください。また、水田裏作の目的に供するための権利を設定しようとする場合は、水田裏作として耕作する期間の始期及び終期並びに当該水田の表作及び裏作の作付に係る事業の概要を併せて記載してください。

農地法第3条の規定による許可申請書（別添）

I 一般申請記載事項

<農地法第3条第2項第1号関係>

1-1 権利を取得しようとする者又はその世帯員等が所有権等を有する農地及び採草放牧地の利用の状況

		農地面積 (㎡) ①+②+③	田 ①	畑 ②	樹園地 ③	採草放牧地面積 (㎡)
		自作地	5,000	2,500	2,500	
貸付地						
所在地		所在・地番	地目		面積 (㎡)	状況・理由
			登記	現況		
	非耕作地					

		農地面積 (㎡) ①+②+③	田 ①	畑 ②	樹園地 ③	採草放牧地面積 (㎡)
		借入地	3,000	3,000		
貸付地						
所在地 以外の 土地		所在・地番	地目		面積 (㎡)	状況・理由
			登記	現況		
	非耕作地					

(記載要領)

- 「自作地」、「貸付地」及び「借入地」には、現に耕作又は養畜の事業に供されているものの面積を記載してください。
なお、「所在地以外の土地」欄の「貸付地」は、農地法第3条第2項第5号の括弧書きに該当する土地です。
- 「非耕作地」には、現に耕作又は養畜の事業に供されていないものについて、筆ごとに面積等を記載するとともに、その状況・理由として、「賃借人〇〇が〇年間耕作を放棄している」、「～であることから条件不利地であり、〇年間休耕中であるが、草刈り・耕起等の農地としての管理を行っている」等耕作又は養畜の事業に供することができない事情等を詳細に記載してください。

1-2 権利を取得しようとする者又はその世帯員等の機械の所有の状況、農作業に従事する者の数等の状況

(1) 作付(予定)作物、作物別の作付面積

	田	畑			樹園地			採放草地
作付(予定)作物	水稲	キャベツ	大根	ネギ				
権利取得後の面積(m ²)	6,200	1,400	1,400	1,400				

(2) 大農機具又は家畜

数量	種類	トラクター	耕運機	田植機	コンバイン	家畜その他
	確保しているもの	所有	1	1	1	
リース						
導入予定のもの 資金繰りについて	所有					
	リース					

(記載要領)

- 1 「大農機具」とは、トラクター、耕運機、自走式の田植機、コンバイン等です。
「家畜」とは、農耕用に使役する牛、馬等です。
- 2 導入予定のものについては、自己資金、金融機関からの借入れ(融資を受けられることが確実なものに限る。)等資金繰りについても記載してください。

(3) 農作業に従事する者

	氏名	年齢	続柄	主たる職業	農作業への年間従事日数		農作業の経験	通作距離又は時間	備考
					現在	見込			
世帯員等 (構成員)	湘南 湘夫	32	本人	農業	220		5年	3分	
	湘南 来菜	31	妻	農業	300		4年	3分	
常時雇	現在 ()人×()日								
	()人×()日								
臨時雇	増員予定 ()人×()日								
	()人×()日								
臨時雇	現在 ()人×()日								
	()人×()日								
臨時雇	増員予定 ()人×()日								
	()人×()日								
雇用労働力(常時又は臨時雇用年間延日数)				年間延日数 日					

(記載要領)

- 「世帯員等」とは、住居及び生計を一にする親族並びに当該親族の行う耕作又は養畜の事業に従事するその他の2親等内の親族をいいます。
- 「続柄」は、申請者との関係で続柄を記載してください。
- 「農作業の経験」は、農作業歴〇年、経験のない者は〇〇にて〇年〇か年農業技術履修他、経験技術等について参考となる事項を記載してください。
- 「備考」は、農作業への従事日数が年間150日に達する者がいない場合に、その農作業に従事する者が、その行う耕作又は養畜の事業に必要な行うべき農作業がある限りこれに従事している場合は〇を記載してください。

<農地法第3条第2項第2号関係> (権利を取得しようとする者が農地所有適格法人である場合のみ記載してください。)

2 その法人の構成員等の状況(別紙に記載し、添付してください。)

<農地法第3条第2項第3号関係>

3 信託契約の内容(信託の引受けにより権利が取得される場合のみ記載してください。)

<農地法第3条第2項第5号関係>

4 農地又は採草放牧地につき所有権以外の権原に基づいて耕作又は養畜の事業を行う者（賃借人等）が、その土地を貸し付け、又は質入れしようとする場合には、以下のうち該当するものに印を付してください。

- 賃借人等又はその世帯員等の死亡等によりその土地について耕作、採草又は家畜の放牧をすることができないため一時貸し付けようとする場合である。
- 賃借人等がその土地をその世帯員等に貸し付けようとする場合である。
- その土地を水田裏作（田において稲を通常栽培する期間以外の期間稲以外の作物を栽培すること。）の目的に供するため貸し付けようとする場合である。
（表作の作付内容＝ 、裏作の作付内容＝ ）
- 農地所有適格法人の常時従事者たる構成員がその土地をその法人に貸し付けようとする場合である。

<農地法第3条第2項第6号関係>

5 周辺地域との関係

権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における耕作又は養畜の事業が、権利を設定し、又は移転しようとする農地又は採草放牧地の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼすことが見込まれる影響を以下に記載してください。

（例えば、集落営農や経営体への集積等の取組への支障、農薬の使用方法の違いによる耕作又は養畜の事業への支障等について記載してください。）

申請地はこれまでも畑（水田）として利用されており、権利の取得後も同様に畑（水田）として利用するため、周辺の農地の農業上の利用に影響を及ぼすことはないと考えます。